

学校図書館による学習支援 Ⅰ



◇図書館資料をより活用しやすくするための工夫

- 中学校校舎に図書コーナーを設置し教科等と連携する(竹富町立小浜小中学校)
- 子どもたちの学びをサポートする掲示物の工夫(宮古島市立下地小学校)

◇図書館と国語科が連携した読書旬間の実践 **[NEW]**

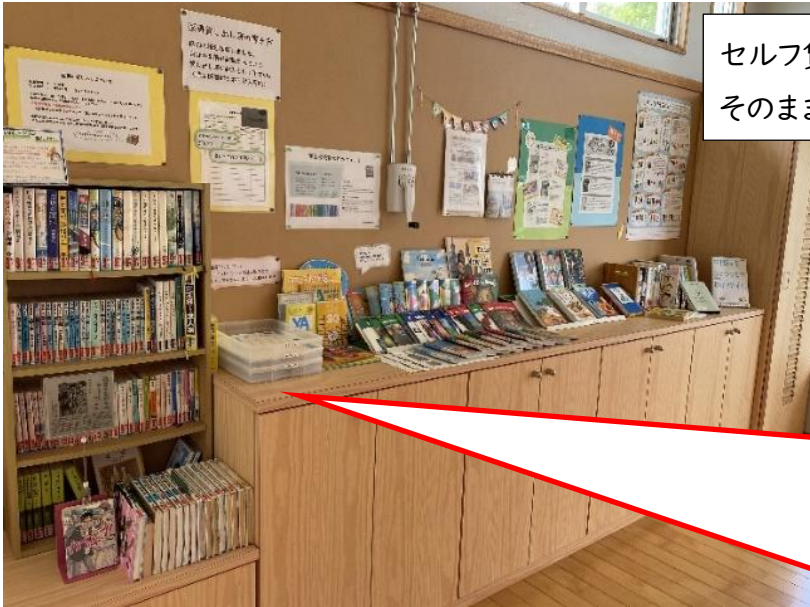
- 各教科等と連携した読書旬間の取組み「書き出し小説コンクール」
「この続きを読みたい!仲井真中 文学大賞委員会を唸らせろ!」

(那覇市立仲井真中学校)

◇図書館資料をより活用しやすくするための工夫

■中学校校舎に図書コーナーを設置し教科等と連携する(竹富町立小浜小中学校)

小中学校併置校において、図書室が小学校校舎にある場合、なかなか中学生が足を運んでくれないという悩みをよく聞きます。小浜小中学校図書館では、中学校校舎の廊下の一角に図書コーナーを設置しました。



セルフ貸出

そのまま貸出までできるようにしています。



教科と連動したコーナー

英語多読をはじめよう!!

- ①辞書は引かない。
- ②わからないところは飛ばす。
- ③自分に合わないと思ったら、楽しめそうな次の本にうつる。



歴史マンガシリーズ



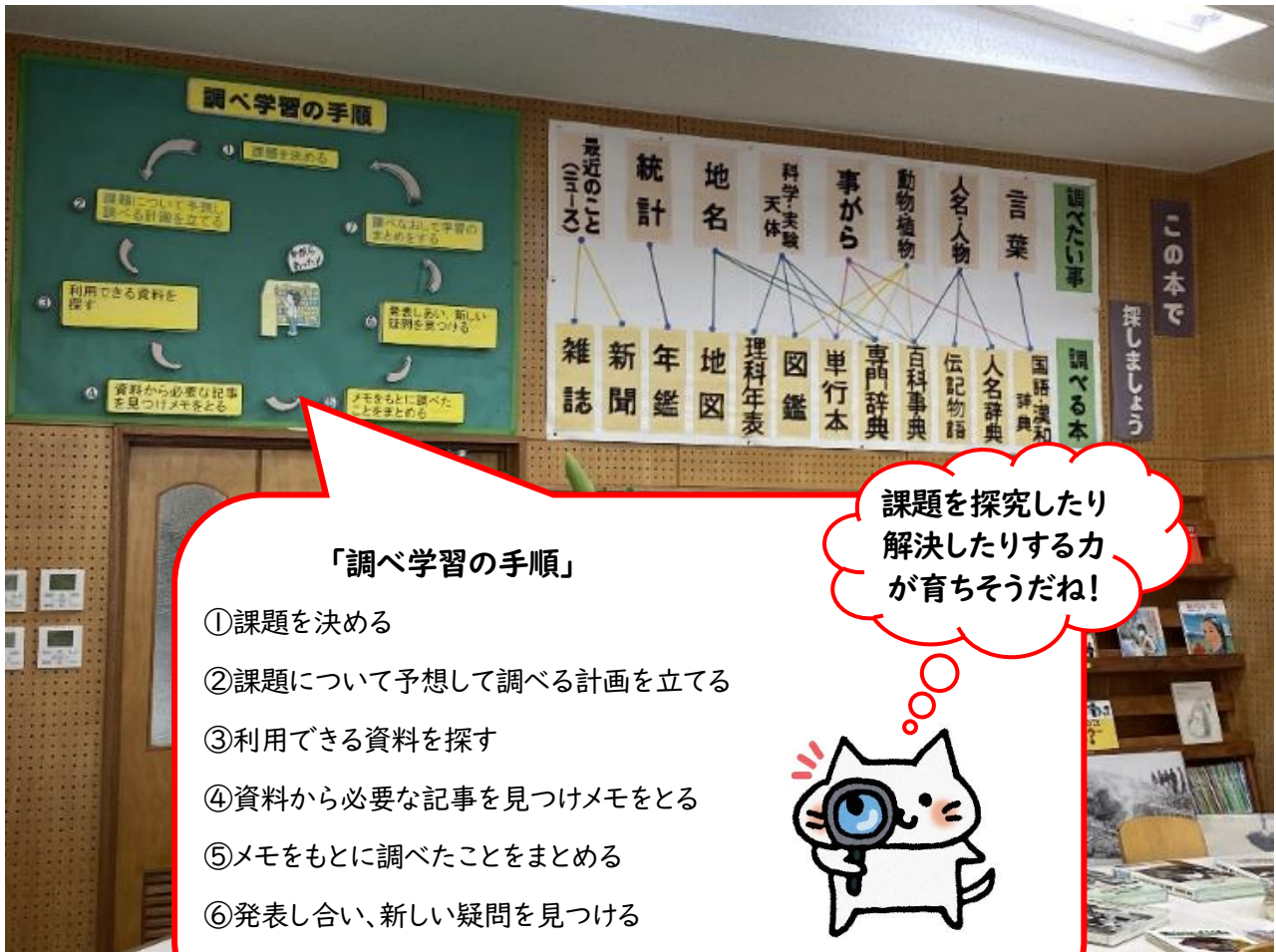
中学生に読んでほしいおすすめ本も展示しています。



■子どもたちの学びをサポートする掲示物の工夫 (宮古島市立下地小学校)

学校図書館には「読書センター」としてだけでなく、「学習センター」「情報センター」としての役割があります。下地小学校図書館では、子どもたちの学びをサポートするため、掲示物を工夫しています。

子どもたちの自主的な学びを支援する掲示物



「調べ学習の手順」

- ①課題を決める
- ②課題について予想して調べる計画を立てる
- ③利用できる資料を探す
- ④資料から必要な記事を見つけメモをとる
- ⑤メモをもとに調べたことをまとめる
- ⑥発表し合い、新しい疑問を見つける
- ⑦調べなおして学習のまとめをする

課題を探究したり
解決したりする力
が育ちそうだね!



①にもどる…

「この本で探しましょう」

目的別に資料を示しています。
このような掲示物があると、次回からは子どもたち自身で本を探したり、調べたりすることができそうです。また、先生にとっても役立つ資料になりそうです。

◇図書館と国語科が連携した読書旬間の実践

■各教科等と連携した読書旬間の取組み 「書き出し小説コンクール」

～この続きを読みたい!仲井真中 文学大賞委員会を唸らせろ!～

学校図書館と教科が協力をして、読書旬間を盛り上げ、読書推進を行っている実践事例の紹介です。

□書き出し小説とは…

毎年、仲井真中学校の読書旬間中に実施している催して、小説の 200 字程度の冒頭（書き出し）部分だけで審査するもの。今年度は、国語科と本格的にタイアップして取り組みました。

■国語科による書き出し小説の取組み 10 月前半

※授業で取り組むのは全部で4時間

1 時間目	説明・小説のジャンル決め・分担・作成
2・3 時間目	プロット作り
4 時間目	発表・講評

全学年で取り組みました。
授業で取り組んだのは4時間で、生徒たちは、休み時間を使って作成をしていました。

仲井真中学校国語科教諭 高良 優 先生



書き出し小説団体戦【進め方】

- 1 小説のジャンルを決める 推理小説 SF 小説 ファンタジー小説 ホラー小説 ライトノベルなど
- 2 プロット（小説の設計図）を作る
 - ・どんな展開なのか ・いつ ・どこ ・何が起こった
 - ・結末はどうなる
- 3 主人公の設定
 - ・年齢 ・性別 ・外見 ・得意なこと、不得意なこと
 - ・人種 ・名前 ・職業 ・住む場所、出身地
 - ・使っているもの ・性格の特徴 など
- 4 その他の登場人物の設定（主人公の設定内容を参考に設定）
- 5 場面の設定をし、4人で分担を決める。
- 6 先生から配られた班長のスライドに、グループメンバーの共有をかけ、共同で作業できるようにする。
- 7 それぞれが作成した小説の場面を順番よく並べていく。
- 8 先生に提出する。
- 9 学級発表会のため、ストリームに貼り付ける。
 - ・グループ名 ・メンバー名 ・書き出し小説タイトル を付ける
- 10 各グループの発表スライドを読んで、Formでの振り返りを書き込み、送信する。



4人1組で物語の冒頭文を作成します。

タブレット端末を活用した取組なので、共同作業も小説の場面の並べ替えもスムーズです。



休み時間を使って冒頭文を作成している生徒の様子



仲井真中学校国語科
教諭 高良 優 先生

読書旬間のイベントとして、生徒による審査がありますが、それとは別に、教科の評価をつけています。イベントの楽しい側面と、国語の力をつける学習面とを両立させた取組みだと思います。

国語の学習面としては、教科書に載っている小説を学習する前に位置付けても、後に位置付けても、どちらでも学びがあると感じています。自分自身が実際に小説の冒頭を書くことを通して、小説の書き出しだけでなく、表現の工夫や展開の工夫にも気付ける よいきっかけになったと思います。

作品を図書館に展示



作品は、クラス別にファイルに綴り、登録をしてバーコードを貼っています。授業で活用できる資料として保存します。



みんな熱心に読んでいましたよ。教科と連携することで生徒の学びがみえる取組になりました。



仲井真中学校
司書 添石志穂子さん

大賞作品

深淵の君へ

午前8時32分、サイレンの音が鳴り響く。血の匂いが地下駐車場に充満している中、最後の一人に銃口を向ける。引き金を絞る。弾は額を貫き、流れた血の筋がこめかみまで続いていた。血溜まりが床一面に広がっていく。

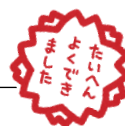
携帯電話を開くと1件の着信が届いていた。

「律！もうすぐ始まるんだけど、今どこ？」

「すぐ行く」と返信をし、携帯をしまう。

「4人もなんてめんどくさい仕事をさせやがって、こっちの都合も考えろよ。」

そう呟き、その場をあとにした。 (以下略)



優秀作品

少女と世界樹

プロローグ

―怠け者の桃太郎、帰ろうとしないかぐや姫、変わった書物も集まる本の世界樹へようこそ...
私が管理人の―

1. 本の木

学校のチャイムが張り詰めた教室の空気を弛緩させた。もうお昼だ。ペンを置いた新村梨沙はほっとため息をついた。休憩がてらに梨沙は図書室に向かった。本を読んでいると、いつの間にか寝てしまっていた。

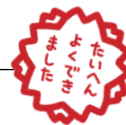
何時間かたった頃だろう梨沙は目を開けた、するとそこには今まで見たことないくらい大きな木がある。それは夢か現実か区別することができないくらいにリアルだ。梨沙は驚いたがよく見ると、木の中に人影があった。その人影と目があった気がする。

「やあ」

少年の声が聞こえた。驚く暇もなくそれは話し始める。

「突然だけど」

「本の中に入ってほしいな」 (以下略)





沖縄県立図書館ホームページ「学校図書館支援」では、
学校図書館の取組みについて情報提供します。内容につ
いては随時更新してまいります。